

事例11

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり重複投与に至った

ゼローダ錠 300（カペシタビン）、ティーエスワン配合OD錠T 25（テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム）：抗悪性腫瘍薬

- ・ 80 歳代、胃がん（XELOX療法中）
- ・ 副作用のためティーエスワンに変更するところ、ゼローダを中止せず 2 剤を重複処方した。院外薬局で調剤され、患者は 2 剤を服用を開始。
- ・ 投与開始約 2 週間後、体調不良で救急搬送となり重複投与が判明したが、投与から約 2 週間後に死亡。
- ・ 死因は、骨髄抑制による全身状態悪化。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。